

第2次筑前町総合計画

第2次 筑前町 総合計画

綾瀬市総合計画2030

基本構想 5 基本方針

計画の実現に向けては、“つたえる”を大切にし、“つながる”を生み出すという本市の10年後のまちに向けた理念を踏まえ、市の魅力を育むとともに、支え合いによる地域福祉の実現や地域の活性化を促進し、次世代に引き継げるまちづくりを進めることが重要です。

また、人口推計、財政推計を分析すると、定住促進や生産年齢人口の補完、歳入増加・歳出抑制につながる効果的な投資が必要です。

これらことを踏まえ、次の3つの事項を本市の基本構想に定める今後10年間の取り組みの基本方針として設定し、自立性などを有した持続性の高いまちづくりにつなげていきます。

育てる

文化財、公園などの地域資源の有効活用、魅力向上や市民活動の活性化、地域の担い手づくりなど、次世代の継承を育てる視点でのまちづくりを進めます。

また、幼児教育の推進や多文化共生のまちづくりなどを通じて、人と人とのつながりや地域への愛着、魅力を育み、子育ての場として選ばれ、いつまでも住み続けてもらえるまちづくりを目指します。

稼ぐ

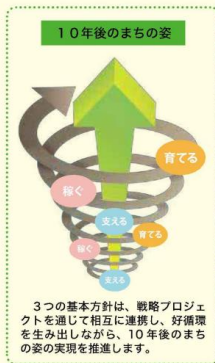
農・商・工の産業振興を進めるとともに、観光による交流人口増、市の認知度向上に資する取り組みを進め、積極的な「稼ぐ」視点での地域経済の活性化を図ります。

また、市のにぎわいの拠点となる道の駅の整備や中心市街地のリニューアルを通して、市民同士や来訪者との出会いといった交流機会を生み出すまちづくりを進めます。

支える

支え合いによる大規模自然災害への備えの充実や、鉄道駅が無いという本市の特性を踏まえた移動手段の充実など、安全で快適な暮らしを支える基盤を形成します。

また、誰もが健康で充実した生活を送ることができる生活環境づくりや、さまざまな形で活躍できる機会や場の創出を進めるとともに、そうした活躍の舞台となる公共施設の再編などを進めることで、市民の暮らしの質の向上を図ります。



第2次筑前町総合計画

将来像を実現するための5つの政策

「学ぶ」「守る」「**稼ぐ**」「支える」「結ぶ」

綾瀬市総合計画2030(基本構想)

基本方針

「育てる」「**稼ぐ**」「支える」

第6次藤井寺市総合計画(基本構想)

持続可能な行財政運営と進捗管理

①未来への投資に向けた「**稼ぐ**」基盤づくり

第2期新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略

将来にわたって活力ある新潟市を実現するための3つの方向性

● 地域の外から**稼ぐ**力を高めるとともに、地域内経済循環を実現する